

年間授業計画

野津田 高等学校 令和8年度（2学年用） 教科 福祉 科目 社会福祉基礎

教科：福祉 科目：社会福祉基礎 単位数：2 単位

対象学年組：第2学年 4組

使用教科書：7 実教 福祉701 社会福祉基礎 副教材：最新：介護福祉養成講座2 社会の理解 中央法規

教科 福祉 目標：福祉における実践的・体験的な学習活動を通じ、人間の尊厳に基づく地域福祉の推進と持続可能な福祉社会の発展を担う職業人の育成を目指す

【知識及び技能】福祉の各分野について体系的・系統的に理解するとともに、関連する技術を身に付けるようにする

【思考力、判断力、表現力等】福祉に関する課題を発見し、職業人に求められる倫理観を踏まえ合理的かつ創造的に解決する力を養う

【学びに向かう力、人間性等】職業人として必要な豊かな人間性を育み、よりよい社会の構築を目指して自ら学び、社会福祉の創造と発展に主体的かつ協働的に取り組む態度を養う

科目 社会福祉基礎 目標：現代社会における社会福祉の意義や役割を理解するとともに関連する技術を身に付け、社会福祉の向上と発展に貢献するために必要な資質・能力の育成する

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
社会福祉について体系的に・系統的に理解するとともに、関連する技術を身に付けるようにする。	社会福祉の展開に関する課題を発見し、職業人に求められる倫理観を踏まえ科学的な根拠に基づいて創造的に解決する力を養う。	健全で持続的な社会の構築を目指して自ら学び、福祉社会の創造と発展に主体的かつ協働的に取り組む態度を養う。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
<p>・社会保障制度</p> <p>【知識及び技術】 社会保障制度の意義と役割、日本国憲法と社会保障などについて、理解している</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 社会保障制度の意義と役割、日本国憲法と社会保障などについて、職業人に求められる倫理観を踏まえ科学的な根拠に基づいて創造的に解決している</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 社会保障制度の意義と役割、日本国憲法と社会保障などについて、自ら学び、主体的かつ協働的に取り組もうとしている</p>	<p>・指導事項</p> <p>●社会保障制度 社会保障の基本的な考え方、日本の社会保障</p> <p>・教材 教科書、テキスト、 社会福祉小六法、プリント 一人一台端末</p>	<p>【知識及び技術】 社会保障制度の意義と役割、日本国憲法と社会保障などについて、理解した内容を記入する</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 社会保障制度の意義と役割、日本国憲法と社会保障などについて、考察した内容を記入する</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 社会保障制度の意義と役割、日本国憲法と社会保障などについて、グループワークで話し合った内容をまとめ、発表する</p>	○	○	○	12
<p>1学期</p> <p>定期考査</p> <p>・高齢者保健福祉と介護保険制度</p> <p>【知識及び技術】 高齢者の健康保持と社会参加、介護保険のしくみの基本的理解などについて理解している</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 高齢者の健康保持と社会参加、介護保険のしくみの基本的理解などについて、課題を発見し、職業人に求められる倫理観を踏まえ科学的な根拠に基づいて創造的に解決</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 高齢者の健康保持と社会参加、介護保険のしくみの基本的理解などについて自ら学び、主体的かつ協働的に取り組もうとしている</p>	<p>・指導事項</p> <p>●高齢者保健福祉と介護保険制度 高齢者保健福祉の動向、介護保険制度</p> <p>・教材 教科書、テキスト、 社会福祉小六法、プリント 一人一台端末</p>	<p>【知識及び技術】 高齢者の健康保持と社会参加、介護保険のしくみの基本的理解などについて理解した内容を記入する</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 高齢者の健康保持と社会参加、介護保険のしくみの基本的理解などについて、考察した内容を記入する</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 高齢者の健康保持と社会参加、介護保険のしくみの基本的理解などについて、グループワークで話し合った内容をまとめ、他の人に説明できる</p>	○	○	○	12
<p>定期考査</p> <p>・障害者保健福祉と障害者自立支援制度（障害者総合支援制度）</p> <p>【知識及び技術】 障害者福祉の現状、障害者総合支援制度の目的・サービス内容などについて理解している</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 障害者福祉の現状、障害者総合支援制度の目的・サービス内容などに関する課題を発見し、職業人に求められる倫理観を踏まえ科学的な根拠に基づいて創造的に解決している</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 障害者福祉の現状、障害者総合支援制度の目的・サービス内容などについて、自ら学び、主体的かつ協働的に取り組もうとしている</p>	<p>・指導事項</p> <p>●障害者保健福祉と障害者自立支援制度（障害者総合支援制度）</p> <p>・教材 教科書、テキスト、 介護福祉用語辞典 社会福祉小六法、プリント 一人一台端末</p>	<p>【知識及び技術】 障害者福祉の現状、障害者総合支援制度の目的・サービス内容などについて、理解した内容を記入する</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 障害者福祉の現状、障害者総合支援制度の目的・サービス内容などについて、考察した内容を記入する</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 障害者福祉の現状、障害者総合支援制度の目的・サービス内容などについて、グループワークで話し合った内容をまとめ、伝えることができる</p>	○	○	○	14
<p>2学期</p> <p>定期考査</p> <p>・介護実践に関連する諸制度</p> <p>【知識及び技術】 虐待防止・保健医療に関する制度などについて、理解している</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 虐待防止・保健医療に関する制度などの課題を発見し、職業人に求められる倫理観を踏まえ科学的な根拠に基づいて創造的に解決している</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 虐待防止・保健医療に関する制度などについて、自ら学び、主体的かつ協働的に取り組もうとしている</p>	<p>・指導事項</p> <p>●介護実践に関連する諸制度 個人の権利を守る制度、保健医療に関する制度</p> <p>・教材 教科書、テキスト、 社会福祉小六法、プリント 一人一台端末</p>	<p>【知識及び技術】 虐待防止・保健医療に関する制度などから理解した内容を記入する</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 虐待防止・保健医療に関する制度などについて、考察した内容を記入する</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 虐待防止・保健医療に関する制度などについて、グループワークで話し合った内容をまとめ、クラス全体に伝えることができる</p>	○	○	○	16
<p>定期考査</p> <p>・介護実践に関連する諸制度</p> <p>【知識及び技術】 公的扶助、就労支援・雇用促進に関する制度などについて、理解している</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 公的扶助、就労支援・雇用促進に関する制度などに関する課題を発見し、職業人に求められる倫理観を踏まえ科学的な根拠に基づいて創造的に解決している</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 公的扶助、就労支援・雇用促進に関する制度などについて、自ら学び、主体的かつ協働的に取り組もうとしている</p>	<p>・指導事項</p> <p>●介護実践に関連する諸制度 貧困と生活困窮に関する制度、地域生活を支援する制度</p> <p>・教材 教科書、テキスト、 社会福祉小六法、プリント、 一人一台端末</p>	<p>【知識及び技術】 公的扶助、就労支援・雇用促進に関する制度などについて、理解した内容を記入する</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 公的扶助、就労支援・雇用促進に関する制度などについて、考察した内容を記入する</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 公的扶助、就労支援・雇用促進に関する制度などについて、グループワークで話し合った内容をまとめ、発表する</p>	○	○	○	11
<p>3学期</p> <p>定期考査</p>			○	○	○	1
						合計
						70

年間授業計画

野津田 高等学校 令和8年度 (2学年用) 教科 福祉科 科目 生活支援技術

教科: 福祉 科目: 生活支援技術 単位数: 3 単位

対象学年組: 第 2 学年 4 組

使用教科書: 7 実教 福祉303 生活支援技術

副教材: 最新 介護福祉士養成講座 6 生活支援技術I、最新 介護福祉士養成講座 7 生活支援技術II
最新 介護福祉士養成講座 8 生活支援技術III、最新 介護福祉士養成講座 15 医療的ケア

教科 福祉 目標: 福祉における実践的・体験的な学習活動を通じ、人間の尊厳に基づく地域福祉の推進と持続可能な福祉社会の発展を担う職業人の育成を目指す

【知識及び技術】福祉の各分野について体系的・系統的に理解するとともに、関連する技術を身に付けるようになる

【思考力、判断力、表現力等】福祉に関する課題を発見し、職業人に求められる倫理観を踏まえ合理的かつ創造的に解決する力を養う

【学びに向かう力、人間性等】職業人として必要な豊かな人間性を育み、よりよい社会の構築を目指して自ら学び、社会福祉の創造と発展に主体的かつ協働的に取り組む態度を養う

科目 生活支援技術 目標: サービス利用者主体の生活支援の在り方を理解するとともに関連する技術を身に付け、尊厳の保持や自立支援に根ざした継続的で豊かな生活支援に必要な資質・能力を育成する

【知識及び技術】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
自立生活の支援について体系的・系統的に理解するとともに、関連する技術を身に付けるようになる	自立生活の支援の展開に関する課題を発見し、職業人に求められる倫理観を踏まえ科学的な根拠に基づいて創造的に解決する力を養う。	健全で持続的な社会の構築を目指して自ら学び、自立生活の適切な支援に主体的かつ協働的に取り組む態度を養う。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
・自立に向けた排泄の介助 ・医療的ケア実施の基礎 【知識及び技術】 心身の状況に合わせた排泄介助、医療的ケアや制度について、教科書やプリントの記述などから理解する 【思考力、判断力、表現力等】 心身の状況に合わせた排泄介助、医療的ケアや制度について、考察し、表現する。 【学びに向かう力、人間性等】 心身の状況に合わせた排泄介助、医療的ケアや制度について、グループで話し合った内容をまとめて自ら発表する。	・指導項目 ●自立に向けた排泄の介助 ●医療的ケア実施の基礎 ・自立した排泄の介護、排泄の介護における多職種との連携、心身の状況の理解、排泄介助方法など ・医療行為、喀痰吸引等制度や背景など医療的ケア ・教材 教科書、テキスト、ワークシート、一人一台端末	【知識及び技術】 心身の状況に合わせた排泄介助、医療的ケアや制度について、理解した内容をワークシートに記入する。 【思考力、判断力、表現力等】 心身の状況に合わせた排泄介助、医療的ケアや制度について、考察した内容を記入する。 【学びに向かう力、人間性等】 心身の状況に合わせた排泄介助、医療的ケアや制度について、グループワークで話し合った内容をまとめ、発表する。	○	○	○	20
定期考査			○	○		1
・自立に向けた食事の介助 ・医療的ケア実施の基礎 【知識及び技術】 心身の状況に合わせた食事介助、安全な実施、救急蘇生について、教科書やプリントの記述などから理解する 【思考力、判断力、表現力等】 心身の状況に合わせた食事介助、安全な実施、救急蘇生について、考察し、表現する。 【学びに向かう力、人間性等】 心身の状況に合わせた食事介助、安全な実施、救急蘇生について、グループで話し合った内容をまとめて自ら発表する。	・指導項目 ●自立に向けた食事の介助 ●医療的ケア実施の基礎 ・自立した食事の介護、食事の介護における多職種との連携、心身の状況の理解、食事介助方法など ・喀痰吸引や経管栄養の安全な実施実施、救急蘇生など安全な療養生活 ・教材 教科書、テキスト、ワークシート、一人一台端末	【知識及び技術】 心身の状況に合わせた食事介助、安全な実施、救急蘇生について、理解した内容をワークシートに記入する。 【思考力、判断力、表現力等】 心身の状況に合わせた食事介助、安全な実施、救急蘇生について、考察した内容を記入する。 【学びに向かう力、人間性等】 心身の状況に合わせた食事介助、安全な実施、救急蘇生について、グループワークで話し合った内容をまとめ、発表する。	○	○	○	20
定期考査			○	○		1
・自立に向けた入浴・清潔保持の介助 ・医療的ケア実施の基礎 【知識及び技術】 心身の状況に合わせた入浴・清潔保持介助、感染予防、心身の健康などについて、教科書やプリントの記述などから理解する 【思考力、判断力、表現力等】 心身の状況に合わせた入浴・清潔保持、感染予防、心身の健康などについて、考察し、表現する。 【学びに向かう力、人間性等】 心身の状況に合わせた入浴・清潔保持、感染予防、心身の健康などについて、グループで話し合った内容をまとめて自ら発表する。	・指導項目 ●自立に向けた入浴・清潔保持の介助 ●医療的ケア実施の基礎 ・自立した入浴・清潔保持の介護、入浴・清潔保持の介護における多職種との連携、心身の状況の理解、入浴・清潔保持介助方法など ・介護職の感染予防、消毒と殺菌、心身の健康など ・教材 教科書、テキスト、ワークシート、一人一台端末	【知識及び技術】 心身の状況に合わせた入浴・清潔保持、感染予防、心身の健康などについて、理解した内容を記入する。 【思考力、判断力、表現力等】 心身の状況に合わせた入浴・清潔保持、感染予防、心身の健康などについて、適切な判断をし、ワークシートに記入する。 【学びに向かう力、人間性等】 心身の状況に合わせた入浴・清潔保持、感染予防、心身の健康などについて、グループワークで話し合った内容をまとめ、発表を共にする。	○	○	○	20
定期考査			○	○		1
・自立に向けた家事の介助 ・喀痰吸引(基礎的知識・実施手順) 【知識及び技術】 心身の状況に合わせた家事介助、呼吸の働き、喀痰吸引の概論・手順などについて、教科書やプリントの記述などから理解する 【思考力、判断力、表現力等】 心身の状況に合わせた家事介助、呼吸の働き、喀痰吸引の概論・手順などについて、考察し、表現する。 【学びに向かう力、人間性等】 心身の状況に合わせた家事介助、呼吸の働き、喀痰吸引の概論・手順などについて、グループで話し合った内容をまとめて自ら発表する。	・指導項目 ●自立に向けた家事の介助 ●喀痰吸引(基礎的知識・実施手順) ・自立した家事の介護、家事の介護における多職種との連携、心身の状況の理解、家事介助方法など ・高齢者・障害児者の喀痰吸引概論やそれらの実施手順解説 ・教材 教科書、テキスト、ワークシート、一人一台端末	【知識及び技術】 心身の状況に合わせた家事の介助、呼吸の働き、喀痰吸引の概論・手順などについて、理解した内容を記入する。 【思考力、判断力、表現力等】 心身の状況に合わせた家事の介助、呼吸の働き、喀痰吸引の概論・手順などについて、適切な判断をし、ワークシートに記入する。 【学びに向かう力、人間性等】 心身の状況に合わせた家事の介助、呼吸の働き、喀痰吸引の概論・手順などについて、グループワークで話し合った内容をまとめ、発表を通して共有する。	○	○	○	20
定期考査			○	○		1
・自立に向けた睡眠の介助 ・終末期の介護 ・経管栄養(基礎知識・実施手順) 【知識及び技術】 心身の状況に合わせた睡眠・終末期介助、栄養剤、急変・事故発生、経管栄養の概論・手順などについて、教科書やプリントの記述などから理解する 【思考力、判断力、表現力等】 心身の状況に合わせた睡眠・終末期介助、栄養剤、急変・事故発生、経管栄養の概論・手順などについて、考察し、表現する。 【学びに向かう力、人間性等】 心身の状況に合わせた睡眠・終末期介助、栄養剤、急変・事故発生、経管栄養の概論・手順などについて、グループで話し合った内容をまとめて自ら発表する。	・指導項目 ●自立に向けた睡眠の介助 ●終末期の介護 ●経管栄養(基礎知識・実施手順) ・自立した睡眠・終末期の介護、睡眠・終末期の介護における多職種との連携、心身の状況の理解、睡眠・終末期介助方法など ・高齢者・障害児者の経管栄養概論やそれらの実施手順解説 ・教材 教科書、テキスト、ワークシート、一人一台端末	【知識及び技術】 心身の状況に合わせた睡眠・終末期介助、栄養剤、急変・事故発生、経管栄養の概論・手順などについて、理解した内容をワークシートに適切に記入する。 【思考力、判断力、表現力等】 心身の状況に合わせた睡眠・終末期介助、栄養剤、急変・事故発生、経管栄養の概論・手順などについて、考察し、内容を記入し表現できる。 【学びに向かう力、人間性等】 心身の状況に合わせた睡眠・終末期介助、栄養剤、急変・事故発生、経管栄養の概論・手順などについて、実践の中で得た考えに対し、グループで話し合い、他者の意見を取り入れながらまとめ、発表する。	○	○	○	20
定期考査			○	○		1
						合計
						105

年間授業計画

高等学校 令和8年度（2学年用） 教科 福祉 科目 介護過程

教科：福祉 科目：介護過程 単位数：2 単位

対象学年組：第 2 学年 4 組

使用教科書：（7実教 福祉706 介護過程 副教材：最新 介護福祉士養成講座 9 介護過程）

教科 福祉 の目標：福祉の見方・考え方を働かせ、実践的・体験的な学習活動を行うことなどを通して、福祉を通じ、人間の尊厳に基づく地域福祉の推進と持続可能な社会福祉の発展を担う職業人として必要な資質・能力を育成する。

【知識及び技能】福祉の各分野について体系的・系統的に理解するとともに、関連する技術を身につける。

【思考力、判断力、表現力等】福祉に関する課題を発見し、職業人に求められる倫理観を踏まえ合理的かつ創造的に解決する力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】職業人として必要な豊かな人間性を育み、よりよい社会の構築を目指して自ら学び、福祉社会の創造と発展に主体的かつ協働的に取り組む姿勢を養う。

科目 介護過程 の目標：福祉の見方・考え方を働かせ、実践的・体験的な学習活動を行うことなどを通して、介護過程の展開に必要な資質・能力を育成する。

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
介護過程について体系的・系統的に理解するとともに、関連する技術を身につける。	介護過程の展開に関する課題を発見し、職業人に求められる倫理観を踏まえ科学的な根拠に基づいて創造的に解決する力を養う。	健全で持続的な社会の構築を目指して自ら学び、介護過程の適切な展開に主体的かつ協働的に取り組む態度を養う。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数	
1 学期 ・介護過程の意義と役割 【知識及び技能】 サービス利用者の援助における科学的根拠に基づいた介護を専門職として実践するための知識を身に付ける。 【思考力、判断力、表現力等】 サービス利用者のニーズを引き出し、個別援助につながる課題や思考する必要性などについて、創造的に取り組む態度を養う。 【学びに向かう力、人間性等】 サービス利用者の個性と自立した生活を支援するために主体的かつ協働的に取り組む。	●指導事項 介護過程の意義と役割 ・介護過程とは ・事例検討等の必要性 ●教材 教科書、副教材、プリント、PC 端末	【知識・技能】 介護過程の展開における科学的な根拠とは何かを例を示しながらその意味を理解することができるか。 【思考・判断・表現】 サービス利用者の課題に対し、必要な援助は何かを考察し援助方法考え出すことができるか。 【主体的に学習に取り組む態度】 サービス利用者の課題に対し、必要な援助は何かをグループワークを通して他者と共に導き出すことができるか。	○	○	○	20	
			小テスト		○	○	
2 学期 ・介護過程の理解 【知識及び技能】 サービス利用者のアセスメントを活用し、介護計画に必要な情報の集約に対する知識を身につける。 【思考力、判断力、表現力等】 サービス利用者のアセスメントを見返し、必要な情報の取捨選択における判断ができる。 【学びに向かう力、人間性等】 サービス利用者のアセスメントを見返し、必要な情報の取捨選択について協働的に取り組む態度を養う。	●指導事項 介護過程の理解 介護過程の展開 ・アセスメント ・介護計画の立案 ・介護の実施、評価 ●教材 教科書、副教材、プリント、PC 端末	【知識・技能】 アセスメントで得たも見返し、サービス利用者の心身の状況や思いなどが正しく記入できるか。 【思考・判断・表現】 アセスメントで得られた情報について、サービス利用者の思いやできることなどが正しく記入されているか判断ができるか。 【主体的に学習に取り組む態度】 他者とともにアセスメントを見返し、必要な情報の取捨選択がされているか、他者と話し合いをすることができるか。	○	○	○	32	
			期末考査		○	○	
3 学期 ・介護過程の実践的展開 【知識及び技能】 事例研究を通してサービス利用者の心理や生活状態などについて理解するとともに、関連する技術を身に付ける。 【思考、判断、表現等】 サービス利用者の心身状況をもとに、科学的根拠に基づいた介護援助計画に必要な援助方法を考えることができる。 【学びに向かう力、人間性等】 サービス利用者の心身状況をもとに、科学的根拠に基づいた介護援助計画に必要な援助方法を主体的かつ協働的に取り組む。	●指導事項 介護過程の実践的展開 ・介護過程の実践的展開 ・介護過程展開の実際 ●教材 教科書、副教材、プリント、PC 端末	【知識・技能】 情報の解釈、関連づけ、統合化に関する知識をもとに、アセスメントで得た情報から介護計画作成の実践ができるか。 【思考・判断・表現】 サービス利用者の情報をもとに科学的根拠に基づいた個別性を主とした介護援助計画を作成することができるか。 【主体的に学習に取り組む態度】 事例を読み解き、介護計画の評価について課題を発見し、解決しようとしている。	○	○	○	15	
			期末考査		○	○	
						合計	70

